

令和2年度

## 地域活動実践講座 実施報告書

日時 令和2年9月25日（金曜日）

会場 帯広市民活動センター

参加者 5名

内容 ①地域活動インターネット講座視聴 レポート作成  
②大学インターネット講座視聴 レポート作成  
③地域活動実践交流

### 1 地域活動インターネット講座視聴・レポート作成

令和2年度第1回地域活動インターネット講座を視聴し、新十津川町の実践を学びその後レポートを全員で作成した。北見市福祉協議会のボランティアとして高齢者や視覚障害者の支援を毎週行っている参加者もいて新十津川町と北見市との活動の課題について意見が交流された。



### 2 大学インターネット講座視聴・レポート作成

令和2年度大学インターネット講座を視聴し、室蘭工業大学内海教授の研究している無人航空機の果たす役割と宇宙基地としての北海道の利点を学びその後、レポートを作成した。北見市にも国立北見工業大学があり、先進的な研究が行われているため無人航空機に対する興味も旺盛で、既習知識を使いながらレポート作成を行った。

### 3 地域活動実践交流

#### ◎実践内容

- 北見市立図書館でボランティアを行い、破損図書の修理・視覚障害者に向けた朗読、幼児を対象に読み聞かせなどを行っている。このような活動が市民に広がってほしい。
- 北見市朝のラジオ体操連盟活動に長年係わりを持っている。北見市の朝のラジオ体操は毎年、5月から10月まで市内31カ所で行われており、北見市民の健康づくりに寄与している。
- 福祉ボランティアとして、在宅・施設入所者の話し相手や遊技の相手、視覚障害者の旅行支援、独居老人宅の除雪活動を行っている。北見市内には福祉ボランティアに登録している人は約800人ほどいるが、自宅に籠もりがちな人を外に如何にして連れ出すか、登録人数は多いが活動するボランティアは少ないのが課題である。
- 観光ボランティアとして、観光施設や秋の「菊まつり」で活動している。説明のための知識を講座などをおして身につけたい。
- 自衛隊募集相談員として市内10名ほどと活動している。自衛隊に入隊することで高等学校や大学に自己負担の少ない方法などの相談活動を行っているが、市民の認知度は低く制度を利用する生徒は少ないのが現状である。



#### ◎課題解決に向けて

- ボランティアサークルのサロンなど、日頃の愚痴を話し合う場を主催する。
- 片意地の張らず、自分のできることを行うことで、ストレスが軽減できる。
- やりがいのある活動なので、多くの人に理解してもらい参加者を増やす。